



「学校教育目標」  
絆を深め、地域社会に  
貢献できる生徒の育成  
○自ら学ぶ ○思いやる  
○体を鍛える

文責 竹田 圭志

## 学校朝会の言葉

今日は今年度最後の学校朝会となります。

いよいよ最後なんだなあ…と思うと何か感慨深いものがあります。

先日、本校の生徒のことでこんな話を聞き、うれしくなりました。

その生徒は、今、目の前の進路のことや、家族とのことなど心配なことやうまくいかないことで悩んでいるとのこと。そんな時、「おがわ学」で調べたり、実際に足を運んだことで興味を持った小川町の神社やお寺を回って気分転換をしているというのです。

実は、私も色々なストレスで押しつぶされそうなどきがあります。そんな時、小川町を散歩しながら気分転換を図っています。下里にある大聖寺からカタクリとオオムラサキの林などを回って栃本親水公園まで、軽く汗がにじむくらいのペースで歩きます。これからの季節は色とりどりの花も楽しめます。様々な野鳥と出会うことができます。めったに出会うことのできないエメラルドグリーンのカワセミに出会えた時の幸せな気分は、ふさいだ気持ちを吹き飛ばしてくれます。

ストレスの解消方法には色々な方法があります。私の同級生だった男の子は高校入試が近づく年明けから、休み時間に机に突っ伏して頭から制服をかぶり、手元を懐中電灯で照らしながら完全に外部と遮断して勉強に打ち込んでいました。周囲のざわつきが彼には相当ストレスだったのでしょう。彼は、本来ひょうきんで、こもってしまうタイプではありません。彼をそういう行動に仕向けてしまったのは、私を含めた周囲のクラスメイトです。私立高校にすでに合格して羽を伸ばしている生徒もいました。また、同じ県立高校受検者であっても、自分が追い込まれたプレッシャーをごまかそうと、逆に妙にはしゃいで騒ぎ立てるタイプもいました。今思うと、教室はどこか思いやりに欠けた雰囲気だったと思います。

結果的に彼は合格しましたが、私は今でも学生服をかぶって勉強していた彼の姿が忘れられません。どこか、申し訳ないような、「あの時、自分は何をすればよかったんだろう…」という気持ちがいつまでも「しこり」のように胸に残っています。

皆さん誰もが、何らかのストレスを抱えていると思います。自分に向けられたプレッシャーや不安な気持ち、抑えられないような怒りや悲しみ。他人に向けることで解消してはいないでしょうか？ 今日話を聞いて少し自分自身を振り返ってみてください。そして、周囲に思いやりを持った学級、学年、学校を皆さんの手でつくっていきましょう。

小川町のお寺や神社に気分転換で足を運ぶ生徒の話聞いて、私がうれしく感じた理由はわかりますか？ 何十年たっても同級生の姿が忘れられない私の後悔の気持ち、わかりますか？

皆さんも、色々なストレスを周囲にぶつけるのではなく、自分なりに解消する方法を見つけてみてください。



先日訪れた大聖寺は、暖かい日差しに包まれて既に春を感じさせてくれました。

## 生徒の活躍

\*1・2学期に表彰されたものが含まれています。紹介が遅れて申し訳ありません。

比企地区硬筆展覧会【特選】1年生2名、2年生3名、3年生2名

【優良】1年生3名、2年生1名、3年生2名

小川班読書感想文コンクール【特選】3年生1名 【入選】1年生1名、2年生1名

比企地区発明創意くふう展【優良】1年生2名

科学教育振興展覧会比企地区展【優良】1年生3名の共同研究、2年生3名の共同研究

埼玉県読書感想文コンクール 3年生1名

郷土を描く美術展【入選】2年生2名

身体障害者のための美術展【入選】3年生1名、2年生3名、1年生1名

町民総体ソフトテニス中学2年男子の部【第3位】2年生ペア

中学1年男子の部【第2位】1年生ペア【第3位】1年生ペア

小川班理科研究発表会【優良】2年生3名の共同研究

## 新入生保護者説明会を実施しました

1月25日(水)、新入生保護者会を実施しました。

ご多用の中、また、10年に一度と言われる厳しい寒波到来にもかかわらず、6年生児童の皆さん、保護者の皆様にご参会いただきました。

児童・保護者対象に榊台中学校の「学校の概要」、「学校生活の様子」、「生活のきまり」を説明の後、児童の皆さんは「授業の見学」や「生徒会役員による学校紹介」、保護者の皆様には「集金について」、「保健関係」、また、PTA執行部から本校の「PTA組織や活動」についてお伝えしました。

説明会の中で私から6年生の皆さんに、中学入学に向けての心構えとして4つのお願いをしました。実は、この4つはベネッセ教育情報サイトから引用したものです。原文を紹介します。



説明に耳を傾ける令和5年度入学予定の児童並びに保護者の皆さん。

### 【これからの時代に必要な力】中学生の今、何をしておくべきか（黒木研史）

#### (1) 基礎、基本をしっかりおさえる

新しい社会、変わり続ける世の中で、これから訪れる社会的な課題は、とても一人では解決できないものばかりになるでしょう。ですから、求められる力は、「他の人とどう協力しながら課題を解決できるか」です。そういう力を身につけるには、基礎、基本をおさえておくことが大前提になります。そもそも課題の状況を正しく理解し、その解決に向けて仲間と協力し合うためには最低限の知識や教養が必要だからです。これは、時代の変化にかかわらず、これまでも、そしてこれからも必要な力です。

#### (2) 自分の得意なものを見つける

基礎、基本を身につけたうえで、その先に「自分はこれが得意だ」というものを持つておきたいですね。みんなで協力して課題を解決する場面で積極的に自分から行動しやすくなるからです。自分はいったい何が得意なのか。それを知るヒントは、「何をしているときに熱中できるか」、「なぜその分野に熱中できるか」を考えることにありそうです。それらの理由を、自分で考えてみましょう。一人で考えてもよくわからないときは、おうちの人や友達、学校の先生などから「私についてどう思うか」、話を聞いてみるといいでしょう。

#### (3) 「なぜ？」と思ったら、調べる

いろんなニュースに触れたとき、「なぜだろう？」という問いを、自分で立ててみましょう。その背景に興味を持ち、自分なりに調べてみる。そして調べてみたら、自分ならどう考えるか、行動するかということも考えてみるとよいでしょう。また、強く興味を持ったものがあれば、ネットの動画や写真で見るだけでなく、できればぜひリアルに触れてみてほしいです。実際に見る、聞く、触る、人と対話するという体験は、ネットでは得られないたくさんの発見をもたらします。

#### (4) 何のために学ぶのかを考える

たとえばみなさんの中には、東日本大震災のあと、「自分たちはこれからの世の中にもどう貢献できるのか」とか、「こんなふうに関わりたい」ということを感じた人もいられるかもしれません。あらためて考えてみましょう。「将来こんなことをしたい。そのためには、今、こういうことをしなければいけない、しておきたい」と具体的な目標を立てることができるでしょうか。学ぶ目的を考え、目的意識を持つことができると、自分で納得したり工夫しながら学ぶことが可能になります。そうして学んだ内容・経験・自分なりの工夫は将来、大人になってもあなたを支えてくれます。この四つ目のポイントは、一番大事だけれど、一番難しいものです。

これら(1)～(4)をふまえて考えてみると、学ぶ目的は一人ひとり違ってよいのだと思います。同じ学校で、同じ教科書を使って勉強しても、一人ひとりが得意とする知識や特技は、違います。それは、誰が優れている、劣っているという差ではなく、得意・不得意分野がそれぞれ違うということです。自分と違う特技や長所やアイデアを持っている仲間が存在は、将来、自分一人で解決できない問題に直面したときに、とても頼りになります。

自分と違うタイプの人だからと遠ざけるのではなく、認め合う、分かち合う関係を築いていけるとよいですね。

出典：<https://benesse.jp/kyouiku/201502/20150203-7.html>



左QRコードで、町教育委員会 榊台中学校のホームページサイトが開きます。過去の学校だよりも見ることができます。1年間の本校の様子がわかると思いますので、参考にご覧いただければ幸いです。\*HPでは鮮明な写真と生徒の個人名の掲載は控えています。

<https://www.town.ogawa.saitama.jp/0000000033.html>



県公立入試面接試験日(2月24日)は、3年生も給食あり(4時間授業)に変更させていただきます。